

北海道有朋高等学校 パトロール隊の活動について

～高校生によるまちづくり事例～ 北海道有朋高等学校（単位制課程）教諭 佐藤 恵一

1 発隊の経緯

北海道有朋高等学校単位制課程（校長 久野政人生徒数 468 人）は平成 19 年 5 月 1 日、中央区からここ北区屯田の地に移転してきました。本校は、明文化された校則はなく、生活心得を通して『自己申告』『自己管理』『自己責任』の精神から成り立っております。

移転当初、地域住民の方々から色々な苦情電話等をいただき、『何とか地域の方々に本校生徒を理解してもらおう。』という思いからボランティアを募り、30 人くらいで通学路を中心とした清掃奉仕活動を数回行ってきました。迷惑を掛けている生徒はごくわずかとはいいながら、地域住民に理解していただくまでには時間が掛かります。今後とも根気強く行っていきたいと思っております。

移転から 1 年を過ぎた平成 20 年、9 月中旬に屯田防犯パトロール隊（通称 とんぼ隊）の松井隊長と北警察署生活安全課の浅海課長が来校し、『昔ながらのまちづくりのために高校生も是非協力してほしい。』という要請を受けました。「屯田地区が安心した生活を送ることができる地域であり続けてほしい」という両氏の熱い思いに共感し、早速生徒に募ったところ、1 週間で 50 人を超える生徒が賛同してくれました。その後、松井隊長と連携を密に図りながら、10 月 8 日に有朋高校パトロール隊発隊式を迎えることとなりました。式は本校駐車場において、多くのご来賓をはじめ、とんぼ隊の皆さんも含め総勢 70 人にもなる盛大なもの

なり、今後の活動が期待されていることを改めて実感いたしました。式の中で有朋高校パトロール隊隊長 相馬君（2 年次）から発隊宣言が読み上げられ、その後、パトカー・ハーレー警ら隊の先導により、とんぼ隊と共に防犯啓発パレードに参加させて頂き、「有朋高校パトロール隊」の初陣を飾ることができました。

2 今後の活動について

発隊後、松井隊長と連絡を密に取り合いながら、これまでに防犯啓蒙紙芝居を 3 回（うち 2 回は子ども向けの紙芝居も同時上演）実施しました。また、紙芝居と同時並行で防犯チラシ（振り込め詐欺防止）を配布し、身近に起こっている社会問題についても注意を呼び掛けました。

今後の活動としては、北警察署やとんぼ隊からの要請はもとより、「有朋高校パトロール隊」独自の活動を進めていくよう計画を練っている最中です。

『安全で安心できるまちづくり』のために、高校生に何ができるかを考えることで、若いころから防犯意識に目覚め、少しでもこれからのまちづくりのお役に立てるのではという思いがあります。こうしたきっかけを与えていただいた松井隊長・浅海課長には、心から感謝いたしております。

最後になりますが、12 月末にパトロール隊用のジャンパーを用意いたしました。今後、このジャンパーが少しでも多くの場面で、地域の人たちが目にされるよう積極的な活動を展開したいと考え

ております。そして、北区の犯罪が少しでも少なくなり、住みよいまちになることを願いつつ、微

力ながら地域に貢献していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



発隊に向けての挨拶
(久野 政人 校長)



警察、ハーレー警ら隊との
合同パトロール

北警察署・とんぼ隊と合同で
高齢者向け防犯活動に参加
(イトーヨーカドー屯田店前)



発隊宣言(相馬一宇
有朋高校パトロール隊長)



地下鉄麻生駅周辺の
清掃奉仕活動

発隊式の様子
(とんぼ隊員とともに)



防犯紙芝居上演(1年次 澁谷君・谷藤さん)



校舎周辺の全校生徒による清掃活動